

国際空港から2時間で行ける岐阜のビッグスノーリゾートエリア

「TAKASU MOUNTAINS」誕生！

郡上市高鷲エリアの6スキー場が連携し、楽しさパワーアップ！

マックアースグループの「高鷲スノーパーク」「ダイナランド」「ひるがの高原スキー場」3カ所を運営する中部スノーアライアンス(株)(本社：岐阜県郡上市高鷲町西洞3086-1/代表取締役 一ノ本達己)と「鷲ヶ岳スキー場」を運営する東和観光(株)(本社：岐阜県郡上市高鷲町大鷲3250/代表取締役 一ノ本達己)、「ホワイトピアたかす」を運営する(株)P.I.A.ネクサス(本社：岐阜県郡上市高鷲町鷲見512/代表取締役社長 谷口 美德)、「郡上ヴァカンス村スキー場」を運営する郡上バカンス(株)(本社：岐阜県郡上市高鷲町鷲見2363-395/代表取締役 北村 守)、協同組合高鷲観光協会(岐阜県郡上市高鷲町鮎立3328-1/理事長 山畑 光知哲)はこの度、国内外のお客様に更なるウインターリゾートの楽しさを提供する為、**高鷲エリア6カ所のスキー場と4カ所のホテルが連携し「TAKASU MOUNTAINS」を立ち上げ、世界に通用する日本代表のスノーリゾートを目指**すことをご報告します。岐阜県郡上市にある高鷲エリアは、日本の中心部に位置し、名古屋市から車で80分、飛騨高山から車で50分、世界遺産白川郷から車で60分、加賀百万石の金沢より車で120分と都市部や観光地に恵まれた場所に存在します。そして、**中部国際空港セントレアや小松空港、富山空港から全て約2時間と空港からも近いスノーリゾート**です。都市部から好アクセスなことから中部エリア、関西エリアの国内スキーヤー、スノーボーダーに人気があり、高鷲エリアの18-19シーズンの来場者数は80万人を超えています。この**エリアの特徴は、ロングシーズン&ロングタイムスキーリゾートであること**です。11月下旬のホワイトピアたかすの早期オープンを皮切りに高鷲スノーパークの春営業の5月上旬まで滑走が可能で、およそ半年間楽しめます。また**早朝営業やナイター営業、オールナイト営業など、いつ来てもスキーを楽しむことができる世界でも珍しい環境**です。更に我々は**近年需要が高まる訪日外国人観光客の「雪」のニーズにも対応し「分かりやすい2次交通」「分かりやすい施設環境」「分かりやすい体験プラン」など受入環境整備に重点**を置き、また来なくなるスノーリゾートを目指して参ります。

▲TAKASU MOUNTAINS 公式サイト▲

<https://www.takasumountains.com> ※2019年10月オープン予定



[プレスリリースに関するお問い合わせ]



企業名 : (株)マックアース 東京事務所 広報担当 : 堀江(ホリエ)／仁井田(ニイダ)
 所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-6 GM-3ビル 8階
 TEL : 050-3852-3799 FAX : 050-3730-6226 携帯 : 080-6956-8743(堀江)
 HP : <https://www.macearthgroup.jp/> E-MAIL : m.horie@macearthgroup.com(堀江)

▲合同WEBサイトの構築など、エリアを分かりやすくご紹介▲

プロモーションの一環として「TAKASU MOUNTAINS」のオリジナルロゴ(図1)を制作。スキー場を「▲」で表し、6つの▲で全体を表現。また、エリア全体が分かりやすい地域全体のゲレンデマップ(図1)を制作しました。さらに多言語化されたWEBサイトを制作し、ゲレンデ状況、アクティビティ、アクセス、シャトルバス、観光地などの情報を分かりやすくご提供いたします。(図1前頁参照)

▲長い期間、長い時間、雪を楽しめる世界でも珍しいエリア▲

TAKASU MOUNTAINSは、11月下旬～5月上旬までのおよそ半年間、雪を楽しむことができるエリアです。そして「お客様が滑る・遊ぶ時間を選べるよう」に、ホワイトピアたかす、鷲ヶ岳スキー場、ダイナランドの早朝営業、ダイナランドの毎日ナイター営業、鷲ヶ岳スキー場のトワイライト営業、オールナイト営業など、1日中どこかのスキー場が営業している体制を構築しております。(図2)

▲共通ICリフト券システムの導入▲

5スキー場(高鷲スノーパーク/ダイナランド/ひるがの高原スキー場/鷲ヶ岳スキー場/ホワイトピアたかす)が共通の最新ゲートシステム(AXESS AG社製:写真3)を導入。これにより1枚のICリフト券で5カ所全てのスキー場利用ができる共通ICカードリフト券を発行し、宿泊施設を拠点に複数のスキー場を楽しむ事が可能です。

▲リフト券自動受取システムの導入▲

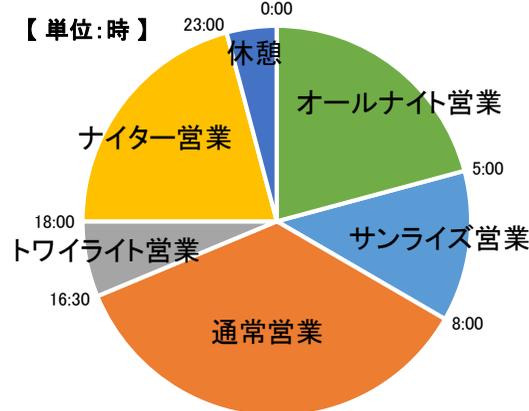
高鷲スノーパーク、ダイナランド、ひるがの高原スキー場には、鷲ヶ岳スキー場とホワイトピアたかす同様のECサイトを活用したリフト券自動受取端末システム「LIPACA(リパカ)システム(写真4)」を導入。WEB購入からセルフ端末機、または直接リフト乗車へ繋ぐことで人手不足に対する課題にも対応することにより、お客様は、更にスムーズにリフト券の購入が可能になります。

▲名古屋ー高鷲ー高山間バスの運行▲

三重交通(株)が運行するトライパルツァーは「名古屋駅ーTAKASU MOUNTAINS-高山駅間(図5)」で、バスと雪遊びや、スキー商品をセットにしたツアー商品を造成します。雪道の車の運転に自信のないお客様や訪日外国人観光客でも安心して、ご来場頂けるようになり、スキー場を楽しんだ後に飛騨高山の町中で観光を楽しむ事も可能です。

▲スキー場間無料シャトルバスの運行▲

高鷲エリア内では、2次交通の無料シャトルバス「SNOW SHUTTLE BUS」が毎日巡回いたします(図6)。これにより、各スキー場、各ホテルがシャトルバスで結ばれ、更に「ひるがの高原サービスエリア」にもバス停を設け、岐阜バス的高速バス白川郷線「ひるがの高原SA」の停車時刻に合わせて、シャトルバスが発着。公共交通機関を使つてのスムーズな来場が可能です。



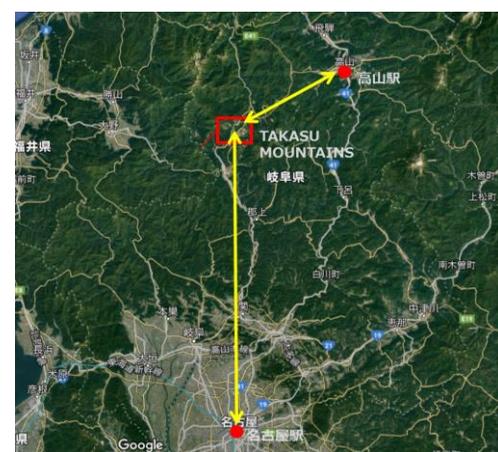
TAKASU MOUNTAINSの週末の営業時間帯(図2)



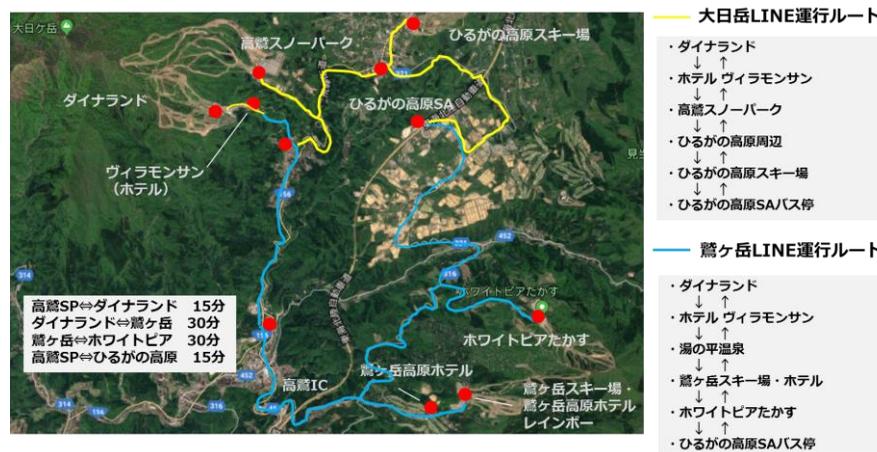
共通ゲートシステム(写真3)



リフト券自動受取端末システム(写真4)



名古屋、高山間ツアールートMAP(図5)



高鷲エリア内シャトルバスルートMAP(図6)

[プレスリリースに関するお問い合わせ]



企業名 : (株)マックアース 東京事務所 広報担当 : 堀江(ホリエ) / 仁井田(ニイダ)
 所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-6 GM-3ビル 8階
 TEL : 050-3852-3799 FAX : 050-3730-6226 携帯 : 080-6956-8743(堀江)
 HP : https://www.macearthgroup.jp/ E-MAIL : m.horie@macearthgroup.com(堀江)

▲様々なアクティビティプランの提供▲

各施設では、お客様が楽しめる体験型アクティビティや文化体験プラン、スキー・スノーボードプランなどをご用意しております。

【ひるがの高原スキー場】

- ▲かまくらでランチ体験&雪遊びプラン
- ▲雪上ラフティング



ひるがの高原「ラフティング体験プラン」



ひるがの高原の「かまくら体験」

【高鷲スノーパーク】

- ▲ゴンドラ乗車で行く山頂テラスの絶景プラン
- ▲スノーモービル乗車体験&雪遊びプラン



高鷲スノーパーク「スノーモービル体験」



高鷲スノーパーク山頂の雲海風景

【ダイナランド】

- ▲中国人インストラクターによるレッスンプラン
- ▲ファミリー向け雪遊びプラン

【鷲ヶ岳スキー場】

- ▲1,500円ミールクーポン付雪遊びプラン
- ▲スキーウエアで書道体験
Tシャツに日本語書いてプレゼント！



ホワイトピアの「かんじき体験」



鷲ヶ岳スキー場の「書道体験」

【ホワイトピアたかす】

- ▲かんじき体験ツアー

▲多言語化の促進と自動翻訳機の導入▲

各施設では多くの訪日外国人観光客を積極的に受け入れるため、多言語化を促進させます。館内すべての看板、ゲレンデマップ、レンタル用紙、ホームページなどを多言語化し、訪日外国人観光客も利用しやすい環境を整備いたします。

また、各施設では自動翻訳機を積極的に採用し、スタッフが即時にお客様のご要望にお応えできる環境を整えます。

▲来場者アンケートによる市場調査とマーケティング▲

スキー場で取得したマーケティングデータを、エリア内で共有することにより、全体のSTP戦略の精度が高まり、より効率的なマーケティング活動を行うことが可能になります。右図のマーケティングサイクルを回すことで、より多くのお客様にお越しいただけるエリアを目指します。

～ STP戦略とは ～

市場を細分化(セグメンテーション/Segmentation)し、次にその中からフォーカスすべきターゲットを決定(ターゲティング/Targeting)。最後にターゲットに対して、競争優位性を設定する(ポジショニング/Positioning)。この活動の頭文字をとって「STP戦略」

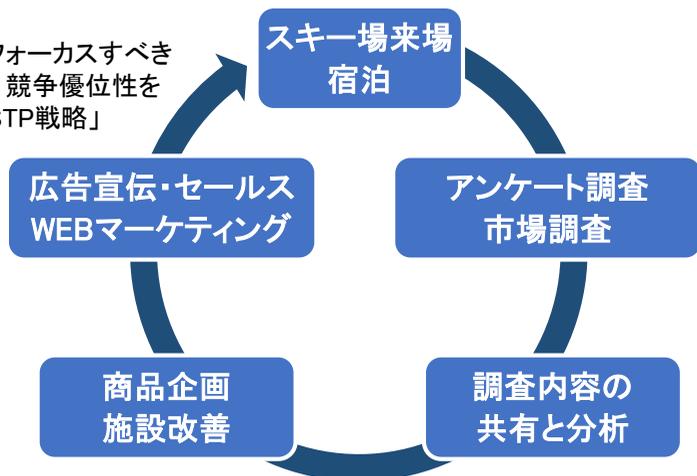
▲マーケティングポイント▲

【国内来場者向け】

- 潜在顧客の掘り起こし
- ファン、リピーターの創造
- オンリーワン商品

【訪日外国人観光客向け】

- 来場目的の明確化
- 受入れ課題、問題点の洗い出し
- 認知拡大策の検討



[プレスリリースに関するお問い合わせ]

企業名 : (株)マックアース 東京事務所 広報担当 : 堀江(ホリエ)／仁井田(ニイタ)
 所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-6 GM-3ビル 8階
 TEL : 050-3852-3799 FAX : 050-3730-6226 携帯 : 080-6956-8743(堀江)
 HP : <https://www.macearthgroup.jp/> E-MAIL : m.horie@macearthgroup.com(堀江)



▲TAKASU MOUNTAINSが目指すリゾート▲

3つの要素に重点を置き、地域と共存しながら手軽に大自然を満喫できるエリアの創造と受入環境整備の充実を目指します。

- ① 主要都市や空港から近くて便利な交通環境作り
- ② 観光と組み合わせたミドル・ショートステイ型プランの提供
- ③ 地域財産を活かしたアウトドア体験型コンテンツの提供

▲TAKASU MOUNTAINSに至るまで ～高鷲エリアのスキー場史～▲

昭和29年3月	大日林間スキー場開きとスキー競技会が開催され、この時はじめて外来客誘致用の宣伝用パンフレットを配布。スキー場の歴史が始まる。
昭和31年1月	高鷲小中学校専用のスキー場として「正ヶ洞スキー場」が開設される。
昭和39年12月	村が誘致した大手企業が「ひるがの高原スキー場」を開設。高鷲エリア初のリフトが設置される。
昭和44年2月	世界プロスキー選手権大会が開催され、アクロバットスキーが披露される。
昭和46年12月	「鷲ヶ岳スキー場」「大栄スキー場(現在の鷲ヶ岳スキー場のオーロラゲレンデ)」開設される。
昭和47年12月	「大日岳スキー場(現ダイナランド)」が開設される。旧高鷲町はスキーを中心とした観光事業が活発化。
平成元年12月	「郡上高原スキー場(現ヴァカンス村スキー場)」開設される。
平成4年12月	「ホワイトピアたかす」開設される。
平成11年11月	東海北陸自動車道 高鷲インター開通
平成11年12月	「高鷲スノーパーク」開設される。
平成14年2月	第1回たかす雪まつりが開催される。
平成19年12月	東海北陸自動車道 ひるがの高原サービスエリアスマートインターETC実験運用開始
平成20年7月	東海北陸自動車道 全線開通
平成20年2月	高鷲スノーパークにてスノーボードFISワールドカップ2008を開催。
令和元年12月	TAKASU MOUNTAINS誕生



ひるがのスキー場における外国人選手のアクロバットスキー
(昭和44年)出典:高鷲村史続編

▲運営会社・施設情報▲

スキー場名	運営会社	電話番号	オープン予定	クローズ予定
高鷲スノーパーク	中部スノーアライアンス株式会社	0575-72-7000	12月中旬	5月上旬
ダイナランド	中部スノーアライアンス株式会社	0575-72-6636	12月中旬	4月上旬
ひるがの高原スキー場	中部スノーアライアンス株式会社	0575-73-2311	12月下旬	3月下旬
鷲ヶ岳スキー場	東和観光株式会社	0575-72-5105	12月上旬	4月上旬
ホワイトピアたかす	株式会社P.I.A.ネクサス	0575-72-6311	11月下旬	3月下旬
郡上ヴァカンス村スキー場	郡上バカンス株式会社	0575-73-2206	12月下旬	3月中旬
高鷲観光協会	協同組合高鷲観光協会	0575-72-5000	—	—
ホテル名	運営会社	電話番号	—	—
ホテル ヴィラ・モンサン	中部スノーアライアンス株式会社	0575-72-5518	—	—
鷲ヶ岳高原ホテルレインボー	東和観光株式会社	0575-72-5102	—	—
鷲ヶ岳高原ホテル	東和観光株式会社	0575-72-5100	—	—
郡上ヴァカンス村ホテル	郡上バカンス株式会社	0575-73-2206	—	—

[プレスリリースに関するお問い合わせ]

企業名 : (株)マックアース 東京事務所 広報担当 : 堀江(ホリエ) / 仁井田(ニイダ)
 所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-6 GM-3ビル 8階
 TEL : 050-3852-3799 FAX : 050-3730-6226 携帯 : 080-6956-8743(堀江)
 HP : <https://www.macearthgroup.jp/> E-MAIL : m.horie@macearthgroup.com(堀江)